

平成29年度第1回ゆりはま創生総合戦略会議 議事録

日時 平成29年5月31日（水） 10時00分～11時30分
場所 湯梨浜町役場 講堂
出席者 中島 守、西本 稔、坂田 康則、宮脇 正道、山田 修平、井土 美智子
遠藤 公章、山村 靖、若山 敬之、小野寺 仁史、佐伯 健二、中森 圭二郎
大羽 由美子（欠席者：加藤 一、野口 智恵子）
事務局 副町長 仙賀 芳友、副町長 山根 孝幸
みらい創造室長 岩崎 正一郎、係長 嶋田 早智子、主事 會見 典恵、
主事 谷岡 雅也、
総務課長 重松 雅文、議会事務局長 川本 栄二、出納室長 川田 信行、
建設水道課長 小林 長志、産業振興課長 西原 秀昭、企画課長 森 輝信、
町民課長 杉原 寛、子育て支援課長 丸 真美、総合福祉課長 竹本 里香、
健康推進課長 尾坂 英二、長寿福祉課長 山田 志伸、教育総務課長 西原 信男、
生涯学習・人権推進課長 山田 昭彦、中央公民館長 富山 弘道、
国民宿舎水明荘支配人 中山 明、
鳥取県中部総合事務所地域振興局参事 小濱 洋明（コンシェルジュ）
（欠席者：教育長 土海 孝治）

1. 開会

（副町長）

それではこれより平成29年度第1回ゆりはま創生総合戦略会議を開催いたします。はじめに、宮脇町長からあいさつをお願いします。

（町長）

みなさん、おはようございます。

本年度第1回の総合戦略会議ということで、昨年1年間に取り組んだ状況等をご報告申し上げます。たまたま、おととい中央公民館の文化大学の開講式で1時間話をしてくれということで、資料を作りました。その中で湯梨浜町の地方創生・総合戦略の中でうたっていて、比較的よかったなと思っている施策が2つありまして、1つは1歳未満児の家庭内保育の関係です。平成27年度から設けて、平成28年度から1歳半まで延長して実施しているもので、27年度は86名であったのが、28年度は133名までなっていると。これは、本当は1歳までは育休をとって子育てをしたいのに、育休の場合に手当が出ないという方のための支援策として実施したものです。平成29年度からは県が助成制度を設け、県内市町村が実施を希望する場合に支援をするということになり、多くの市町村で実施することになりました。伯耆町と湯梨浜町が最初に始めた制度ですが、このように利用をされているということは、価値があったとういことだと思っています。だいたい湯梨浜で生まれてくる子供の数がだいたい150人が目安となっています。中には昨年のように110台という数字のときもありまして、子育て支援課長とどうしてだろうかと話をしたこともありましたが、その分、平成29年度上半期に数字として上がってきているようで、そういうこともあるのだなと感じているところです。

もう一つ、施策として効果があったと感じているのが若者世帯の住宅新築支援制度です。これは、

35歳以下の夫婦、中学生以下の子ども2人がいらっしゃるご家庭が家を新築される場合に50万円を補助するというものですが、平成27年に20軒77人の方、平成28年度には36軒134人の方が家を新築してお住まいになっておられる。内訳をみますと、町外・県内から結構移住が多く、それぞれの地域に入ってきておられるということで、これも施策として効果があったと思っています。

表面だけみますと、町がお金を出して支援しているだけに見えますが、住んでいただくと、固定資産税がかかります。で、50万円というお金を固定資産税で払うと何年くらいになるか聞いてみたところ、5~6年とのことで、町の財政が将来潤うために役立つということでもありますし、家庭内保育につきましても、今保育士不足がどこ自治体でも問題になっておりまして、湯梨浜の場合は、年度当初に年間分を見越してということではなく、必要に応じて雇用するという方法でして、保育士の数が一番多くいる1歳半までの年代を家庭でみていただくと、その人件費でかなり賄えられるということになります。トータルでどうなっているのか、ということの子育て支援課と財務のほうでデータとして取りまとめたかと考えているところです。

その他としましては、天女のふるさとづくりで今年は東郷湖周にウオーキングリゾートの花と緑のプロムナード構想の一環として、宇宙に行って帰ってきた桜の苗木を高知県仁淀川町からいただいて、桜コミュニティあたりに植えたいと。またふるさと納税を活用して東郷湖周に町民の手で桜を植える活動を本格化させたいと考えています。

他にも生涯活躍のまちの推進とか、東郷選果場のそばの2haの土地、荒れた田んぼ等があるので、新品種の梨を植え、なかなか山まで上がって大変ということもあるので平地への新植も進めていって、湯梨浜の梨のブランド力を維持しようというような考え方も持っています。産業振興課長には、7分間瑞風が松崎駅に停車するので、駅裏すぐの場所にできた梨を瑞風のお客様に食べていただくというのが実現するのを夢としてもってはどうかと話をしています。それから、泊地域の小さな拠点づくり、人口も商店もだんだん減ってきている、そこをなんとかしようということと、海の駅、潮風の丘・栽培漁業センターも含めて一体でということを考えていただいております、その実現ということがあります。

それから、ふるさと名物応援宣言で東郷湖等ウオーキングリゾート構想というのを挙げ、今動き出しつつある。ウオーキングの道具が置いてある旅館もあり、そこからCafé ippoやばに一にまで歩いてから朝ご飯を食べていただく。食べていただくのもありきたりなものではなく、ウオーキングに適したような食べ物とか、野花の梅を使ったもの、そういったものの開発がすぐに本格的に動き出すといったこともあります。

それから、ゆうゆうゆりはま事業ということで、首都圏主要5駅にポスターを掲示してPRに努めたり、移住相談セミナー等に女性を題材にしたポスターを掲出しようと、いろいろな分野でがんばっておられる女性を表出して、湯梨浜はこんなものを作っているとアピールするとともに、その女性たちの後ろにある産業を強くしていきたいと。そして、女性のワークライフバランスの確立は大切なことだという認識を企業サイドに得ていただくことを、根っこの目標として持って進めていこうと考えております。

このようなことから、今年度は、湯梨浜町が県外に打って出る年になると思っておりますので、正念場と据えて頑張っていこうと、一方内面では、産業を強くするですとか、移住定住施策をしっかりとやっていくという格好で進めていきたいと考えております。

なかなかお話をする機会もないため、長話になりましたが、私の思いを申し述べさせていただきます

した。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 委員紹介

(副町長)

ありがとうございました。続きまして、委員紹介ですが、ゆりはま創生総合戦略会議設置要綱第3条第2項に委員は、(1) 産業界の関係者 (2) 学識経験のある者 (3) 町の職員 (4) 金融機関の関係者 (5) 労働団体の関係者 (6) 報道関係の者のうちから、町長が任命し、又は委嘱するように規定されており、名簿のとおり15名の方に委嘱させていただいております。委員の任期は2年ですので、よろしく申し上げます。本日、2名の方の欠席の連絡をいただいております。それでは、それぞれ自己紹介をお願いしたいと思いますが、事務局側も人事異動でたくさん変わっておりますので、事務局側も自己紹介をさせていただきます。

～各委員・事務局 自己紹介～

3. 会長・副会長の選出について

(副町長)

ありがとうございました。続きまして、会長・副会長の選出についてです。要綱第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める」とございます。委員のみなさまからご意見等ございましたらお願いいたします。

(委員)

事務局のほうで何か案がありますか。

(副町長)

事務局一任ということよろしいですか。では事務局から提案させていただきます。

(事務局)

では事務局からの案ということで、会長に鳥取看護大学・鳥取短期大学の山田理事長様、副会長に女性団体連絡協議会の井土会長様をお願いしたいと思います。

(副町長)

事務局から提案がありました但委員のみなさま、いかがでしょうか？(拍手あり)

それでは、要綱第6条第1項の規定により、これ以降の進行を会長にお任せしますが、その前に会長・副会長からご挨拶をいただきたいと思います。

(会長)

引き続き会長をさせていただきます。よろしく申し上げます。

先ほど町長から熱い思いをお聞かせいただき、今年度特にこれを、という話がありました。私の立場から、会議の大枠をもう一度復習してみたいと思います。総合戦略ということで、5年計画を立てています。平成27年から31年までの間、平成29年度はちょうど中間年にあたると思います。そして3つの分野を作っています。一つは元気で活力ある湯梨浜ということで、具体的には、産業・仕事。2つ目は安心して暮らせる地域ということで、教育、福祉、環境。3つ目はみんなで作る地域だということで、I J U ターン、町外からの移住者、防災組織をみんなで作ろうなど。この3つの柱を立てて、K P I (Key Performance Indicators) 主要な業務遂行の指標という、具体的な数値目標を作って、この会議ではそれを半年に1回チェックをして、場合によっては、この値をもう少しあげて

はとか、軌道修正とか、いろんなご意見をうかがう。そして最後に目標を達していったときに、会議設置時の、このままいくと湯梨浜だけではないが、人口がこんなに減っていくという現状が、もう少し頑張って人口の下げ止まりをして、湯梨浜全体がもっと元気になるということを目指す。このような会議かと思います。積極的なご意見・ご指摘をお願いします。どうぞよろしくお願いします。

(副会長)

女性団体連絡協議会の井土です。とても荷が重いと戸惑っておりますが、みなさまのご指導をいただきながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

4. 湯梨浜町まち・ひと・仕事創生総合戦略に係るKPI及び具体的事業の進捗状況と取組状況について

(会長)

それでは次第の4. 湯梨浜町まち・ひと・仕事創生総合戦略に係る KPI 及び具体的事業の進捗状況と取組状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料1 参考資料：湯梨浜町の人口動向

資料2 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

資料3 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

により説明

(会長)

それでは皆様方からご質問やご意見、どの分野でも結構ですから、おっしゃってください。

(委員)

質問を1つさせてください。1ページの基本目標1「農林水産業の振興」の中で利用権設定面積が大幅にアップした理由が「未設定農地の整理をしたことによる大幅アップだ」ということでしたが、よくわからないので、もう少し説明をいただきたい。

(事務局)

未設定だった農地というのが、きちんと地主がおられて入植される方が貸し借りの契約に基づいて作付けをするというのが基本ですが、それができていない農地が現実にはあるというところで、KPI のこともありまして、まず洗い出しをしたところで、そこでこれだけ増えた。昨年度で整理ができたので、ここからさらに目標を5haあげて目標値を変えさせていただいたということ。

(委員)

わかりました。

(会長)

その他ありませんか。

(委員)

商工業の振興についてお伺いしたい。他の項目の KPI は多数にわたっているのに、この項目と雇用の推進のところもそうですが、評価の仕方が一つしかないというのは、他に統計がしてなかったのか、「支援制度を活用した起業数」だけで商工業の振興が図れるのか、ということをお伺いしたい。

(会長)

要はもう少し指標があったほうがいいのではないかということですか。

(委員)

そういうことです。たとえば、既存の商店さんが活躍されても、起業数だけでは測れないのではないかと。

(事務局)

資料6をご覧ください。3ページの上側に「③商工業の振興」という部分がありまして、具体的にはということで、事業所の新設、新分野への進出、新製品開発、第6次産業化に対する支援等があつて、その下に KPI が載っています。委員さんのおっしゃるとおり、指標が多いと評価がしやすくなるのではないかとということですので、関係課と検討をしていきたいと思ひます。

(町長)

先ほど説明しましたのは、重点的な項目に挙げてあるものが1項目であがつているということですが、中身的には資料6のような他の事柄も詳しい表の中にはそれぞれ入つているということで、委員のみなさまには、資料の送付が直前になり、全部確認して会に出席していただくことが困難だったかと思ひますが、小さい項目一つ一つについて評価したのも次の資料に入つているので、そこで確認していただければと思ひます。

それともう一つ、ある意味、産業の振興というのは複合的なものですから、事業者数、農業者数、従事者数の推移もそうですが、例えば入込観光客を増やすとか、梨の栽培面積を増やすとか、そういった取組の中でも反射的に対策としては商工業の振興に入るが、よその項目に入つているということもあるかな、と思ひます。

(会長)

他にいかがでしょうか。後ろにおられる課長さんがたから、ここはちょっと強調して言いたいというようなことがありましたらどうぞ。それでは、現状このように進捗しているとみなさんにご了承いただいたということで、よろしいでしょうか。

5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について

(会長)

それでは、先ほどの説明ともちょっと絡みますが、5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について 事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料6 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 抜粋 改正案
により説明

(会長)

ご質問ありますか。順調に進んでいるので、31年度目標を今のように上方修正するということがよろしいですか。

(委員)

先ほどの上方修正の話ですが、資料3の2ページ「基本目標1 活力ある元気なまち」の「支援制度を活用した起業数」が目標が7件で、平成28年度累計実績が6件。あと3年で1件増やすというのが難しいのかなと。目標がすぐ目の前にあるので、もっと高いところに向かって行ったらどうかな、と思ひますが。

(事務局)

おっしゃる通り積極的に施策を推進していくという意味では、上方修正が必要かなと思いますので、また事務局と協議します。

(会長)

では上方修正の方向で検討してもらおうということによいですか。

(事務局)

はい。

(会長)

他にはいかがでしょうか。上方修正の方向で今のところも含めながら、ご了承いただくということによろしいですか。一応議事としては以上ですが、せっかくの機会ですので、委員のみなさまから今のかかわりのことでもいいし、湯梨浜町の活性化にかかわるいろんな部分でもいいので、ご意見があればお願いします。

(町長)

先ほど来、海外からのインバウンドについてもご説明いたしましたときに、イベント関係ということで、町が主催するイベントの中から拾った数字だけご紹介させていただいておりますが、実は海外からの入込が結構増えております。旅館のほうもお客さんが増えているということですし、たまたま町でやったのですが、囲碁を通じた交流ということで、ロシアの方たちが囲碁をしに日本に来られ、去年は湯梨浜学園で湯梨浜の人たちと交流しましたし、東郷運動公園で湯梨浜の子どもたちのサッカークラブと上海や韓国の小学生チームが試合をするといったこともありました。観光客や交流面からも湯梨浜町のインバウンドが進んでいると実感しています。

(委員)

2つ質問があります。資料3の数値目標に新規就業者数が増えているなど実感できますが、反対に離職する人はどのくらいいるのか、新規就業者があっても、離職する人も多ければ雇用として安定しないのかな、ということで、資料があれば教えていただきたい。それと、同じ資料3の5ページ目で、町外に出られる方が増えているということですが、県外だけでなく、町外へのPRはどのようなことをされているのか教えていただきたい。

(事務局)

新規就農者に対して離農される方ということでは、本町農業は梨が主要ですが、山肌の急峻な斜面に作っておられるというようなこともあり、特にそういった方々の離農は進んできています。新規就農も梨をされる方がメインなのですが、梨の生産者がピーク時の3分の1まで減ってきているのが実情です。それに新規就農の方が入ってきて…という現状です。ただ、施策で収益性の高い品種に変えたりですとか、平地のほうに田圃を畑地変換するというのも、県の補助制度をいただきながら積極的に進めていたり、少ない人数になる傾向はありますが、東郷梨のブランドを今後も維持していくような取組は進めているところです。

商業のほうは、商工会の資料を拝見することがありますが、新規で起業される方もあり、若干増えてきている状況。

(町長)

今のはとても大切な視点だと思ひまして、よく面積や出荷量で把握したりするのですが、生産者の数というのもそれぞれの作物で把握することができますので、そういう観点で一覧表を作りたいと思います。

(会長)

もう一つ質問のありました県内の PR 状況についてはどうでしょうか。

(事務局)

基本的には、この一連の地方創生というものの一つのねらいとして、町が元気になる、いい町になるんだという目標があります。基本的にはそれに向かって各種事業に取り組んでいるというものです。一方で PR 手段としましては、例えばホームページも春から一新しましたので、またご覧いただければと思いますし、移住者向けの PR ですが、小学生にお願いをしてアンケートを取り、何人かの子どもさんが出演して町のことを語っていただくというような構成で作成した PR 動画を YouTube にアップしたりと、外向けの PR も同時にこんないい町にするんだということで、いろんな事業に取り組んでいるというものです。従前より、広報ではいろんな情報を出していたり、ケーブルテレビ等でも紹介していただいているといった状況です。

(町長)

具体的に申し上げますと、県内への転入転出の観点から言いますと、直近のデータで県内からの転入は303人で、県内への転出が337人ということで、34人ほど出て行かれる方の数のほうが多いということになっていますが、これまでの実際上の雰囲気というのは、県外への転出は大学に行くときとか、就職するときとか、転出のほうが多いわけですが、県内は比較的、他町から湯梨浜に来ていただいているという状況があったのですが、直近のデータでいくと、マイナスに転じているということがありますが、近いところで言いますと、倉吉市からの転入が多く、若者等中心ということになると言えます。あまり近いところで限られたパイを取り合うというのも気持ち的にはあまり感心しないところで、圏域で栄えていくというのも重要じゃないかという気持ちもありますので、そういった点から言いますと、近隣の県内の市町村に向かって「湯梨浜はいいですよ、いらっしゃいよ」といった特段の活動はしていないというのが正直なところです。

(会長)

他にいかがですか。

(委員)

ウオーキングリゾート構想のところで、ふるさと応援宣言でもウオーキングと絡めた着地型商品開発があったり、商工会のほうも器具の貸し出しなどがあって、あやめ池をウオーキングで活用される団体が増えてきました。最近よく思うのが、それぞれが活動しながら、同じような PR や活動をやっている、無駄があるところがあるんじゃないかという気がするので、ゆりはまも大分ウオーキングに熱が入ってきたような気がするので、全体を見渡せるような組織、人の配置ができれば、いろんな情報発信とか、横をつなげることも含めて、あったほうがいいなと色々な会で話が出ています。ぜひご検討いただければと思います。

(町長)

そのことについては、その通りだと思います。ゆうゆうゆりはまやふるさと応援宣言、農業で住みます芸人、湯梨浜は今年は外に打って出る施策があり、CCRC で移住の促進も首都圏に打って出ますし、単体で縦割りで動いていくよりも、お互い調整して相乗効果をもたらすことができるだろうと思うので、そういう調整はしていけないといけないと思っている。いわれる通り、そのところを統括するところをきちんと持つことが大切かなと思いますので、どこかの部分で対処できるように考えたいと思います。

(会長)

他によろしいでしょうか。

(委員)

観光産業の振興の件で、海外からのイベント参加者数と参加国数ですが、平成26年度の55名からすると、かなり大きく実績を伸ばしておられて、今回上方修正という形なのですが、これはそもそもイベントの開催数を増やしたことが増加につながったのか、あるいは情報発信の仕方を変えて、より多くの方々に発信できたことがこうした増加につながったのか、リピーターが定着したとか、安定した母集団がいらっしゃるとか、そのあたりの検証をされていれば教えていただきたい。

(事務局)

海外からのイベント参加者数等ですが、平成27年度以降、例えばウオーキングの部分ですと、平成27年度はアジア大会を行いました。平成28年度は世界大会を行いました。数的にはそういったものの効果が非常に大きいと思います。また、そういったものを活用してのPRも非常に大きかったのかなど。もう一つグラウンド・ゴルフの部分ですが、大会自体は平成27年度に第1回を開催しました。それと平成27年度から海外に向けてのトップセールスを数々打った関係で、トップセールスで出かけた国の方々、モンゴル、ロシア、ポーランドですが、大会まで非常に短い期間でもじゃあ行こうかと、来てくださったということで、効果があったのかなど。単なるPRだけするのではなく、動いて打って出るという手法で実際に20数名がお越しになったという実績がありますので、引き続き海外に向けて情報発信をしてみたいと思っています。

6. その他

(会長)

まだあるかもしれませんが、6その他の部分でお願いします。

(事務局)

資料4・資料5について説明をすることができませんでした。資料4は平成28年度に実際に実績がどうだったかという経過を書いております。それぞれ達成率・進捗率を表記して、事業を評価しております。それぞれ右から2つ目の欄に平成28年度KPIのそれぞれの個別事業での評価をしております。例えば、「1 湯梨浜町総合戦略策定事業」であれば、28年度KPIは計画以上に進んでいるということで、いちばん右の欄には事業評価に対する対応策ですとか、次年度に向けた方針、そういった形式でそれぞれの事業を説明しています。こちらについては、本来説明すべきところですが、時間の都合上ご覧いただければと思います。一方、資料5につきましては、今年度に取り組む予定の事業一覧を掲載しております。左側3つめの欄に事業名、そして平成29年度に取り組む内容、年間を通して計画を示したものと、目標値、予算が記入してあります。資料の説明をさせていただきました。

それともう一つ、次回開催予定ですが、会長のごあいさつにもありました、この会は年2回を予定しています。今回が前年度の事業の経過並びに今年度の事業計画について。そしてもう1回、11月の終わりから12月の中旬にかけて、このあたりにもう一度開催させていただければと思います。その会議の内容としましては、平成29年度上期の状況と、みなさまのご意見を参考にしながら、平成30年度の予算に関連した内容について、開催を予定しておりますので、またご協力をお願いしたいというものです。以上です。

(会長)

それでは以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。